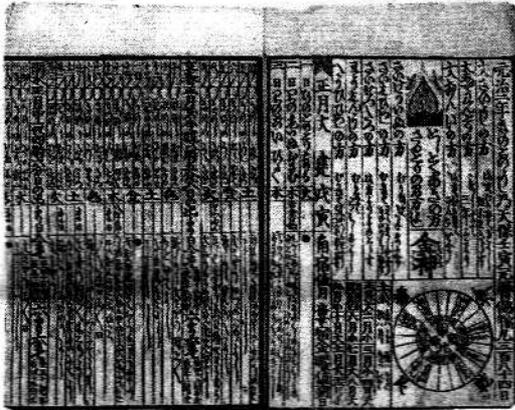
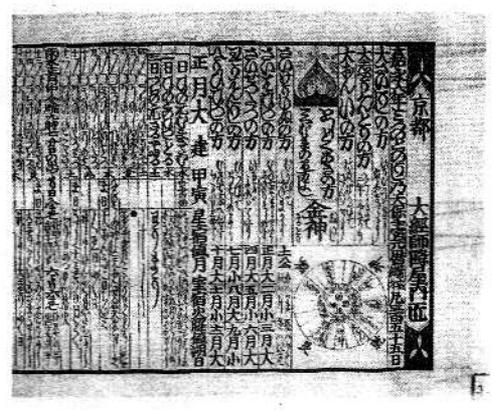


暦は幾つお使いですか？



元治2年(1865)「南部暦」巻頭部分と表紙



嘉永6年(1853)「京暦」巻頭部分

(奈良暦)

「暦は幾つ」といっても現行カレンダーのことではない。それなら私も一年用、富士山などの絵が付いた月々用、予定を書き込む月々用など数種ある。私が聞きたいのは平城・平安の昔から使われ、今でもどこかで入手できる「**特殊暦**」のことである。

この奈良の地では古い暦を使って毎日の生活の指針としていると聞いた。そこで図書館のご厄介になったがよく判らない。しかし何種かの暦が現在でも使われているらしい。

その昔、科学的知識が低かった時代、政治・軍事などは当然ながら、個人的な行動も暦に従って行っていたという。太陽・月・星を見て吉凶を示したのが **陰陽師** である。

時代により様々に陰陽師が活動したため、同一であるべき暦に数種の物が生まれていて「**奈良暦**」「**京暦**」「**伊勢暦**」などがあるという。

**奈良暦** はかなり古く、飛鳥時代以前から用いられ、平城京時代に興福寺が担当し、時代の変遷を経て今日でも使われているという。

**京暦** は平安京の暦。貴族中心に使用されて全国に広まったが、阿部清明などの陰陽師が政治の世界にも進出して暦を差配し、庶民の智慧となり風習となったという。

**伊勢暦** は伊勢神宮が発行した暦で江戸末期に全国に広まった。

こうした暦を現今、どの程度用いているのか不明だが、当地は使用率が高いと推定され、現代科学よりも十干支や六曜などが優先され、御神籤の吉凶・占いを信じ、信仰を貴び、先祖代々伝わる様々な怨念に祈り、過去の霊を慰めているのだという。



# 大阪の旨いもん



大阪は天下の台所、旨いもんがギョウサンある。関東では「働くために食う」らしいが、ワシらは『食うために働く』 全国の食材が集まり、料理人が智慧を凝らし、腕を振るって作り上げたモンを食うて何が悪いン？ 金がなくても安くて旨いものがタントあるけど、ほんまモンは、どうしても超一流の人に調理してもらわなアカンし、食うための雰囲気も大切やから高価になるワ。「ヨーシ、一丁気張って働いて、ゼニ儲けて、ドーンと使コオて楽しみましょ」と言うとるンや！

大阪生まれの安い食いモンを言うたるか・・・ みーんな安モンばかりやしけど旨いデ・・・

- ① 鴨なんば(南蛮) 「なんば」はネギや、ネギと鴨肉が入ったうどん(そば)のことヤ。
- ② ホルモン焼 昔は豚肉の内蔵は食べずに「放るモン」と言われたが、旨いデエ。
- ③ 船場汁(船場煮) 船場で働く丁稚小僧たちに腹一杯食わしたるとしたモンヤ。当初はサバのアラに塩を振って一晩置いて汁にしたが、今は高級魚も使コウて調理シヨル。
- ④ 串カツ 小ぶりの肉・魚・貝・野菜を串に刺して揚げたもンヤ。種類が多いデエ。
- ⑤ たこ焼 小麦粉にタコの小片を入れ、ピンポン玉に焼いたもン。昔はコンニャク玉やスジ肉やったが、明石焼をまねてタコになり、マヨネーズなど味も加わった。これに「ペタコテ」という『お好み焼き』加えて『粉モン』という。味を言うより仲間同士で鉄板囲んで、右手には「コテ」左手は大ジョッキ。ペタペタ・ワイワイやるのヨ。
- ⑥ かにすき・うどんすき 「すき」は水炊きの鍋ヤ。初めは主に食うたモンの残りにうどんや具を入れとったが、今は煮る前に好みの具を指名する。客に出す前の食材の並べ方に調理人の美的自慢があって、形から旨さを誘うデエ。
- ⑦ てっちり・てっさ 「てつ」は鉄砲。フグの毒はヨウ当たるサカイ鉄砲と言うたンヤ。「ちり」はフグ肉の鍋のこと。大阪人の80%は好んでよう食べるが、東京の人はあまり食わんらしいナ。今では鉄砲も当たらんげんど。熱湯に入った肉がチリチリになるンで、「ちり」と言い「てっさ」はフグの刺し身のことヨ。昔から「てっちり」は白い器、「てっさ」は青い皿に乗せて食うのが当然。皿の色も旨さを倍増させる要素なンヨ。
- ⑧ しゃぶしゃぶ 薄く切った牛肉を熱湯に潜らせて、好みのタレで食うとったが、今では肉の種類も様々、タレも色々ヤ。大阪人は変化技の達人ヨ。
- ⑨ チキンラーメン 安藤百福さんが考え出した食いモンヤ。料理の腕チュウモンは必要ないが、お湯があれば世界中の民族麺を食うことができるデエ。一日何億食ヤ。



ツゲの本  
ひょうたん型  
天球



12/29 何もすることがないのは不幸、イヤ老ける元だと思いが仕方がない。息子と孫は飛行機に乗ってどこかへ行った。所在がないが大掃除をするほどでもない。ましてや「餅つき」することもないから、天理方面へ車を出して明年のカレンダーを入手したいと考えた。ところがアカン。斑鳩にはたいした店はないが、南都銀行で「年間暦」を貰えただけで、いつも食材を買う店も「御座いません」とつれない返事。

12/30 例年なら正月用品を買いに行くところだが、今年はすることもナイ。先祖伝来のおせち料理を並べる琉球塗の重箱も「屠蘇器」も睨んだだけで出さずに終わる。例年なら年賀状に時間が懸かるが、今年は喪中で用がない。アア、暇だネ。孫たちは、夜中に帰宅した。

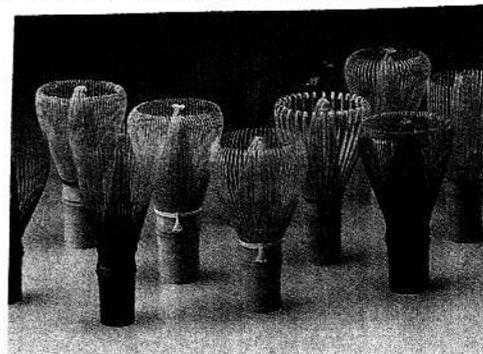
12/31 大晦日の参詣も除夜の鐘も参加する元気はないが、街の様子を見てこようと、車で諸方を巡る。斑鳩はどこも静か。法隆寺の参道松並木も暗闇の中。土産物店が開いていた。「参詣の人が来るから閉店は出来ない」と主人が言うが、明かりも少なく活気がなくて寂しい。帰宅したが「年越しソバ」もない。「紅白」は何年も見たことがないし、見ても判らない。寝るしかナイ。

1/1 いつものように5時に目覚め窓を開けると雪だった。夫婦二人で「おめでとう」を言い、お屠蘇なしで雑煮を戴く。大変な量の新聞が届くが、読むところがほとんどない。ムダだと思いが仕方がない。年賀状が沢山来た。それとなく喪中は知らせておいたが・・・懐かしい人のものもある。オオ生きておったか！

1/2 静岡の息子たちが企画して呉れた新年会に出掛ける。関が原などは雪・雪・雪。事故は静岡駅で起きた。新幹線から降り、いつもなら脚弱を考えてエレベーターに乗るところを一般人と共に階段を下り、あと5段ほどのところで転倒して転げ落ちた。私一人ではなく「健気にも？」家内も一緒に落ちて周囲の人に助け起こされた。駅員が「大丈夫ですか？」と言う。大丈夫ではないが「大丈夫」と答える。「救急車を呼びますか？」 ウーム。昭和の軍国少年は、たとえ腕を切られても「痛い」とは言わないのだ！ 救急車は恥。「死んでも切符は放しません」のラッパ手なのだ。

1/3 息子たちと共に 焼津の「さかなセンター」を經由して藤枝の家内の実家へ行く。まず仏壇に灯明を灯して亡くなった義父・義母に挨拶し、先日、生まれたばかりと言う姪の子(双生児)に初対面。義弟もすっかり好々爺に成り果てて、あっちを抱いて見せ、こっちを抱いて見せる。これからの育児が大変。頑張れ！

以上、今回の年末・年始の「行く年・来る年」をもじり「逝って戻らぬ年と歳を食った老人」の報告とする。



## 奈良新聞の川柳

- 12/21 チョと文句 言ったら嫁から倍返し  
冬至です 南瓜のように遅しく  
(旧暦11/1の冬至は吉日)
- 12/25 中韓に親しみ持てずが 88%  
あの国が 世界へ「悪」を振り撒いて
- 12/28 今までは会社に耐えた 次ぎは妻  
アホばかり言うとする男が立候補
- 12/29 隣国に「腐」「妖」「黒」の字を付ける  
「ゴ吉兆」鳴いているのは ウズラです  
冬の朝 黄色い半旗 掲げたり
- 12/31 誤診され 慰謝料貰い 孫に遣る
- 1/1 お日様にその気はないが 初日の出  
元旦や 昨日の次ぎで 明日の前  
今はもう 生存報告 年賀状
- 1/3 弛緩剤 塗ってやりたい 孫書初め  
大あくび 人生長いぜ 乳飲児チャン
- 1/4 8%が ∞に見えて 夢覚める
- 1/5 ねんねこの 派手な柄ほど よく眠り  
空海の話 滔々 風の寺
- 1/6 昔風 ばかり吹いてる 奈良の寺  
「法隆寺・・」唸っているのは苦吟だナ



## 一月 銭湯会話

若者客「この温泉はクシの備え付けがオマへんなア」

座長「ないでエ ここは。あんたら若い人が来るンが珍しいが、ここは年寄りばかりやさかい、クシなんゾ必要ないワ」

若者客「ヘエーさよか」

座長「ここの常連で一番年寄りは92歳ですワ。それが年末、ちイとも来いしまへんで、イヨイヨくたばったと思オて居りましたら、ひょっこり帰って来ましたン何と自家用車で山陰の温泉巡りしてたと言いますから、無事でしたかと聞いたら『毛がない』と答えましたワ。やはりクシ無しでンなア」

若者客「なんヤ、落とし話ですかいナ」 座長「インヤ、ここは長生き温泉ですワ」

常連A「座長さん、よその風呂へ行ってはりましたンか？」

座長「他所へ行く筈はないやろ！ 行くなら天国ヤ」

常連A「ヘエ？ てんごく？」

座長「近々行きますわいな・・」 常連A「てんごく湯？ 浮気でッか？」(判ってない)